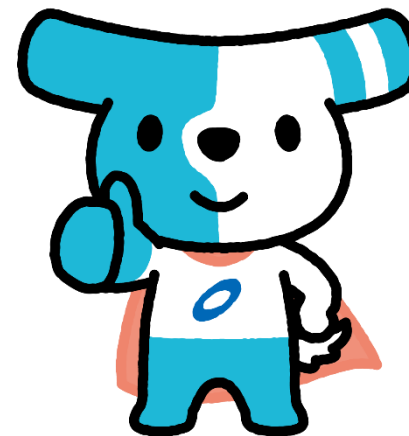


でんさい®の支払/受取 利用開始までの流れ

「でんさい®」は株式会社全銀電子債権ネットワークの登録商標です。

株式会社全銀電子債権ネットワーク
(でんさいネット)



目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

1 でんさいの利用までの流れ

でんさい利用開始までの主な流れ

- でんさいは支払利用、受取利用ともに簡単な4ステップで利用可能です。（関連コンテンツについて、次ページでご紹介します。）

支払利用を検討の方

利用の検討

- コストメリット等を試算

取引先への案内

- 取引先へ案内状を送付

利用準備

- 取引金融機関と利用契約を結ぶ

支払開始

- 継続的に取引先に案内する

受取利用を検討の方

取引先から案内状が届く

- 案内状の内容を確認

利用の検討

- コストメリット等を試算

でんさい契約/回答

- 取引金融機関と利用契約を結ぶ

利用準備/受取開始

- でんさいの初期設定を行う

①

②

③

④

Point

でんさいを検討する主なきっかけ

- ・ 全面的な電子化の報道等を踏まえ、社内で導入の指示があった
- ・ 取引先/取引金融機関からでんさいへの切替案内があった

1 でんさいの利用までの流れ

必見

でんさいウェブサイトコンテンツ 「ご検討からご利用開始まで」

- 「まず何から始めたらいいのかわからない」場合は、本コンテンツをご参照ください。でんさいの導入までの流れをフロー図で説明しており、**全体像をイメージ**できます。
- でんさいの導入にあたってやるべきこと、活用できるコンテンツ、留意点などを時系列で確認できる「**チェックリスト（詳細版）**」をダウンロードできます。

「ご検討からご利用開始まで」ページ

でんさいのはじめ方を知ろう！

でんさいで支払いたい
支払利用の流れ

でんさいで受け取りたい
受取利用の流れ

でんさいの受取利用には、①「案内状が届く」②「利用の検討」③「でんさい契約・回答」④「利用準備・受取開始」の4つのステップがあります。
「受取利用に関するチェックリスト」を参考にしてみましょう。

STEP ①
案内状が届く

- 取引先からの案内状の内容を確認しましょう

でんさいの仕込みを
確認する

STEP ②
利用の検討

- でんさいに切り替えた際のコストメリットを試算しましょう
- 社内事務・会計システムを確認しましょう
- 利用について社内決定をしましょう

コストメリットを
試算してある

STEP ③
でんさい契約・回答

- 取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう
- 取引先へ回答書を送返しましょう

取引金融機関を
確認する

STEP ④
利用準備・受取開始

- でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう（初期設定）
- 社内事務・会計システムを整備しましょう
- 受取開始後、取引先でんさい切替の案内状を送返しましょう

受取の流れを
確認する

案内状サンプルを
確認する

「チェックリスト（詳細版）」イメージ

【受取利用に関するチェックリスト】

でんさいの受取を始めるにあたり必要となる作業の一環です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。

STEP 1 案内文書が届く

項目	作業内容	チェック欄
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	<input type="checkbox"/>
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。 会計システムを確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 3 でんさい契約・回答

⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	<input type="checkbox"/>
⑥ 回答書の送返	取引先から届いた案内文書に回答しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 4 利用準備・受取開始

⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

受取開始

【受取開始後】

⑨ 他の取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。	<input type="checkbox"/>
-------------	-----------------------------	--------------------------

【受取利用に関するポイント】

STEP 1 案内文書が届く

項目	ポイント
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。 特に手形からでんさいへの切替のタイミング（〇月支払分より切替等）、でんさいにかかる金融機関手数料の負担有無はしっかりと確認しましょう。

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。 ・手形受取に係る諸費用（取立手数料、領収書印刷、切手等）とでんさい受取に係る諸費用（でんさい基本手数料、でんさい入金手数料等）を確認し、手形からでんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。当ウェブサイト「 でんさいコスト診断 」ページをご参照ください。 ・でんさい受取に係る諸費用（手数料）は、金融機関によって異なりますので、取引金融機関のウェブサイトをご確認ください。取引金融機関におけるでんさいの取扱い有無は、当ウェブサイト「 参加金融機関一覧 」ページでご確認いただけます。 ・なお、でんさいは、当事者間の合意で領収書を不要にできます。領収書を行う場合でも、でんさい支払であることを必ず書きに記載すれば印紙（印紙不要）となります。
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。 ・でんさいの取扱いにあたっては、支払条件（振込企業、金額、支払日等）の確認や、手形と同様に記録作業が必要となりますので、担当者や事務手続を確認しましょう。 ・金融機関によっては、操作の体験版等をウェブサイトに掲載している場合がありますので、ご確認・お問い合わせください。 ・会計システムを確認しましょう。 ・会計処理については、必要に応じて会計士や税理士にお問い合わせください。 ・確認対象は「会計処理方法」「勘定科目の追加取消」「受取手段に『でんさい』を追加」であり、市販されている会計ソフトの多くはでんさいに対応していますので、まずはご利用中の会計ソフトの対応有無を確認しましょう。対応していない場合、改修やオプションの追加によって対応する方法もあります。また、利用件数が少ない場合、既存の会計ソフトを更新せずに、会計処理上手形と同様に管理する方法もあります。弊社にとって最適な方法をお選びください。なお、手形番号に相当するでんさいの記録番号は、英数字 20 桁で構成されますのでご確認ください。
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。 ・でんさいの移行によってコスト削減、事務効率化、リスク削減が図れる点などを挙げて、社内全体で意思を統一し進めていくことが重要です。また、社内協議を進め実施するなど、当社がでんさい受取し入れるメリットを予め共有することで、業務手続が変更となる部署等との調整がスムーズになります。



ウェブサイトの「ご検討からご利用開始まで」は[こちら](#)

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト



支払開始までのステップ

【支払利用に関するチェックリスト】



densaiの支払を始めるにあたり必要となる作業の一例です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。

STEP 1 利用の検討

項目	作業内容	チェック欄
① コストメリットの試算	densaiに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	<input type="checkbox"/>
② 社内事務・ 会計システムの確認	densai支払開始までのスケジュールを立案しましょう。	<input type="checkbox"/>
	手形支払と比較した場合の支払条件を検討しましょう。	<input type="checkbox"/>
	社内事務を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
	会計システムを確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
③ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 2 取引先への案内

④ 取引先への案内	取引先にdensai切替の案内状を発送しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑤ 回答の取りまとめ	取引先からの回答を取りまとめましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 3 利用準備

⑥ densaiの利用契約	取引金融機関とdensaiの利用契約をしましょう。	<input type="checkbox"/>
⑦ 初期設定	densaiを取り扱う権限者等を設定しましょう。	<input type="checkbox"/>
	STEP2で取りまとめた取引先の情報を登録しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑧ 社内事務・ 会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 4 支払開始

⑨ 支払テスト	試しにグループ企業や親密先に支払をしてみましょう。	<input type="checkbox"/>
---------	---------------------------	--------------------------

本格的に支払開始

STEP 1

STEP 2

STEP 3

STEP 4

【支払利用に関するポイント】



STEP 1 利用の検討

項目	ポイント	
① コストメリットの試算	<ul style="list-style-type: none"> 手形をdensaiに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。 手形支払に係る諸費用（手形帳、印紙、切手等）とdensai支払に係る諸費用（densai基本手数料、発生記録手数料、手数料負担者等）を確認します。densai支払に係る諸費用は、金融機関によって異なりますので、取引金融機関のウェブサイトをご確認ください。 金融機関によっては、試算シミュレーションを提供している場合もあるため、取引金融機関にご相談ください。また、当会社ウェブサイト「densaiコスト診断」ページを提供しておりますので、ご参照ください。 	
② 社内事務・ 会計システムの確認	<ul style="list-style-type: none"> densai支払開始までのスケジュールを立案しましょう。 手形からdensaiへの移行は、一般的に3〜4か月程度かかります。当会社ウェブサイト「利用企業紹介」ページに掲載中の利用事例をご参照いただくと、移行にあたっての大きなスケジュール、検討事項等が把握できます。 手形支払と比較した場合の支払条件を検討しましょう。 支払条件（支払日、支払サイト、手数料負担等）を変更する場合は、取引先への案内時にお知らせするケースが多いです。 社内事務を確認しましょう。 densaiの支払情報の入力、入力担当者、承認者を分ける場合がありますが、一人で両方を兼ねて操作する企業（例えば、入力情報をプリントアウトして回付し、管理者の承認後、担当者が承認操作を実施）もあります。 densaiの発生（振出）操作は、1件ずつ入力する方法以外にも、まとめて入力する方法やファイル登録する方法（一括請求）があります。金融機関によっては、操作の体験版等をウェブサイトに掲載している場合がありますので、ご確認・お問い合わせください。 会計システムを確認しましょう。 会計処理については、必要に応じて会計士や税理士にお問い合わせください。 確認対象は「会計処理方法」「勘定科目の追加要否」「支払手段に『densai』を追加」であり、市販されている会計ソフトの多くはdensaiに対応しているため、まずはご利用中の会計ソフトの対応有無を確認しましょう。対応していない場合、改修やオプションの追加によって対応する方法もあります。また、利用件数が少ない場合、既存の会計ソフトを更新せずに、会計処理上手形と同様に管理する方法もあります。自社にとって最適な方法をお選びください。なお、手形番号に相当するdensaiの記録番号は、英数字 20 桁で構成されますのでご注意ください。 	
	③ 社内決定	<ul style="list-style-type: none"> 利用について社内決定をしましょう。 densaiの移行によってコスト削減、事務効率化、リスク削減が図れる点などを挙げて、社内全体で意思を統一し、進めていくことが重要です。また、社内勉強会を実施するなど、自社がdensaiを取り入れるメリットを予め共有することで、取引先に案内をする営業担当部署等との調整がスムーズになります。
	④ 取引先	

STEP 2

⑤ 回答の

STEP 3

⑥ densai

⑦ 初期設定

⑧ 社内事務・ 会計システムの確認

STEP 4 支払開始

⑨ 支払テスト

⑦ 初期設定	<ul style="list-style-type: none"> densaiを取り扱う権限者等を設定しましょう。 金融機関のマニュアルを参考に、ログイン/パスワード、承認者・担当者のユーザー登録等densaiの支払利用にあたって必要な事項を設定しましょう。ご不明な点があれば、金融機関のコールセンター宛にお問い合わせください。
⑧ 社内事務・ 会計システムの確認	<ul style="list-style-type: none"> 社内事務および会計システムを整備しましょう。 STEP1をもとに、社内事務および会計システムを整備しましょう。
⑨ 支払テスト	<ul style="list-style-type: none"> 試しにグループ企業や親密先に支払をしてみましょう。 本格稼働前に親密先やグループ企業に対して、本格稼働時と同じ方法でdensaiを1件振り出してみましょう。本格稼働前に新たな気づきや課題等が見つかるかもしれません。

※ 不明な点等がございましたら取引金融機関にご相談ください。また、一般的なことであれば当会社ウェブサイト「[ご意見](#)」ページをもとに当会社にお問い合わせください。

支払開始までのステップ

STEP 1 利用の検討



「コスト診断」ページ
(本資料32ページでご紹介)

でんさい コスト



☑ コストメリットの試算

手形とでんさいの諸費用を確認

※金融機関によって異なります。

☑ 社内事務・会計システムの確認

でんさい支払開始までのスケジュールの立案や
支払条件等の検討、支払事務・会計処理等の確認

☑ 社内決定

「でんさいアカデミー」ページ
(本資料33ページでご紹介)

でんさい アカデミー



社内全体で意思を統一し、メリット等を共有

支払開始までのステップ

STEP 2 取引先への 案内



取引先への案内


案内状をFAX送信または手形郵送時に同封



回答の取りまとめ


取引先の「利用者番号」と
「決済口座情報」を集計・管理

「お取引先でんさい利用状況
検索サービス」ページ
(本資料34ページでご紹介)

でんさい 検索サービス 




「導入サポート」ページの
「案内状サンプル」
(本資料35ページでご紹介)

でんさい サポート 



「かんたんメールオファー」
ページ
(本資料36ページでご紹介)

でんさい オファー 



支払開始までのステップ

STEP 3 利用準備



でんさいの利用契約

取引金融機関へのお申込み、
契約済みの場合は契約形態（債務者（支払者）
としての利用可否等）の確認



初期設定

でんさいを取扱う権限者等の設定、
取引先情報の登録



社内事務・会計システムの整備

STEP 1 をもとに、各種整備

支払開始までのステップ

STEP 4
支払開始 支払テスト

グループ企業や親密先への発生（振出）



本格的に支払開始

(支払開始後)

 他の取引先への案内 既存の手形支払先への
継続的案内

詳細は、別セミナー
「取引先へ案内しよう！編」
をご覧ください

2

利用準備(支払利用)

- でんさいの支払開始には導入決定から、概ね1か月～6か月程度要しています。

対応事項(例)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	～
検討開始	→								
でんさい導入の社内決定		★							
取引先への説明・意向確認			→						
でんさいの利用契約締結					→				
初期設定						→			
社内事務・会計システムの整備						→			
支払テスト								→	
本格稼働									★

※対応事項および期間は、経理処理方法（自動消込の要否）、導入している会計ソフト（でんさい対応の要否）等により異なります。

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

A株式会社 ・ 業種：卸売業 ・ 設立：1960年

方針 手形による支払を**原則ゼロ**

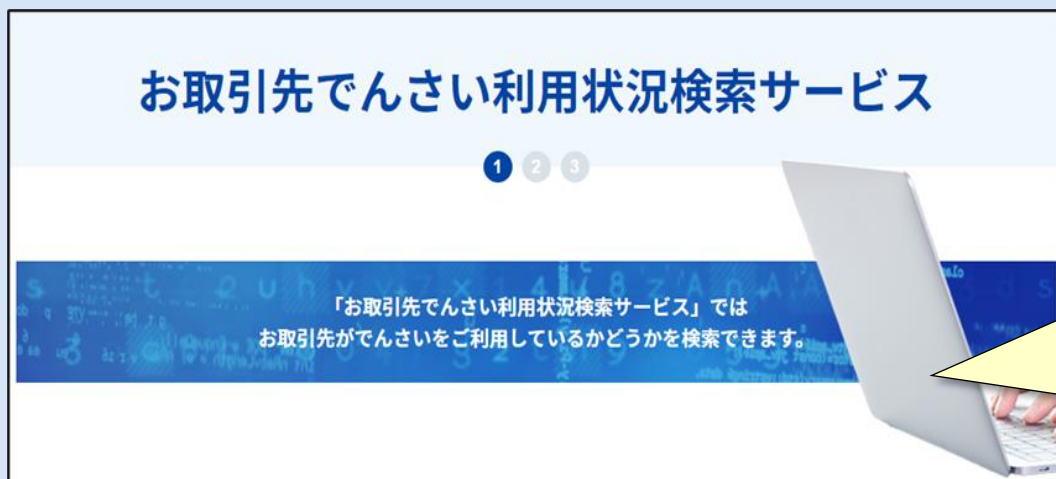
➡手形的利用ができ、かつ全国の金融機関で取扱いが可能な
でんさいを採用

導入の効果

- 業務時間 平均43時間/月 → 平均4時間/月 **1/10に軽減**
- 印紙税 平均42万円/月 → 平均0.4万円/月 **1/105に削減**
- 支払方法別金額割合 手形97% → でんさい97%(残りは手形、振込等)

【導入する際に対応したこと】

- どのくらいの取引先がでんさいの利用契約をしているか
⇒「お取引先でんさい利用状況検索サービス」を活用
※でんさいネットウェブサイトで利用可能
事前にでんさいを導入している取引先を把握することで調整が容易に



【利用手順】 (無料)

- ① 利用規約に同意する。
- ② 法人名称を入力し登記住所（都道府県、市区町村）を選択する。
- ③ でんさいの契約があれば、法人名、法人名カナ、郵便番号、登記住所が表示される※。

※個人事業者および検索対象からの除外をでんさいネットに申し出ている法人は検索の対象外となる

- 取引先向けアンケートを実施
⇒でんさいネットウェブサイト掲載の「案内状サンプル」から資料をダウンロード

事例紹介(支払企業)

取引先にでんさいを勧める際のポイントを、実際の事例をもとにご紹介します。

- ① まず、でんさいへの切替にあたって取引先(手形受取企業)に案内状を送付し、取引先の意向を確認しました(ひな形はでんさいウェブサイト掲載中)。

【案内用紙】

支払方法変更に関する案内状サンプル【詳細版】(記入例/赤字箇所)
(支払企業⇒受取企業)

20XX年5月10日

お取引先 各位

株式会社大銀電気

「でんさい」による支払に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様への代金の支払について、約束手形および小切手を利用しておりましたが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても20XX年8月以降、ご同意いただいたお取引先様との間のお取引について、「でんさい」による支払を開始させていただくことを予定しております。

※「でんさい」による支払条件については、別紙1『「でんさい」での支払条件について』をご参照ください。

弊社が新たな支払方法として採用する「でんさい」は、約束手形や小切手等に代わる決済手段として、株式会社全銀電子債権ネットワーク(通称「でんさいネット」)が提供する電子記録債権であり、利用メリットの高い決済手段でございます。

※「でんさい」の利用イメージおよびメリットについては、別紙2「でんさいについて」をご参照ください。

【回答用紙】

受取企業⇒支払企業

別紙3

20XX年5月29日

株式会社大銀電気 総務部 宛

貴社名	株式会社全銀製作所		
住所	東京都千代田区千代田12345		
ご担当課名	経理部	ご担当者名	山本
電話番号	03-1234-5678	FAX番号	03-1234-5678

「でんさい」の受取に関する回答書

1. 今後「でんさい」で受取るよう申請します。

利用者番号	0	1	2	3	4	A	B	C	D
決済口座	金融機関名	全国銀行			金融機関コード	9	9	9	9
	支店名	東京支店			支店コード	0	0	1	
	口座種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座	口座番号	1	2	3	4	5	6
変更可能時期※	2	0	X	X	年		8	月	分

※「でんさい」を発生(手形でいう振出)する月。

後日、手形から「でんさい」への支払方法の変更開始時期等をご案内いたします。

※でんさい以外に、お互いにとって良い決済方法があればお取引先様からご提案いただくために、上記に加え独自に「その他」の欄を設けました

② 取引先からいただいた質問事項等に対応しました。

パソコンの操作は苦手で、...

でんさいネットウェブサイトには、でんさいのサービスを提供している「金融機関一覧」と「操作体験版」を掲載しております。ぜひ操作して慣れてみてください。

紙でやってきた手続きを電子化するのに抵抗感がある

「全面的電子化チラシ」を使用し、2026年度末までに紙の手形等の全面的な電子化が必要であることを伝えましょう。「いつまでに」「何をしなければならないのか」を伝えるのが重要です。

手形の裏書先がでんさいに対応していないんだよね、...

裏書先に対しても本セミナーをご案内いただいたり、でんさいネットウェブサイトに掲載されている「セミナー動画」をまずはご視聴いただくようお勧めしてください。

手形との二重管理は不便じゃないかしら、...

手形と比べでんさいは事務負荷が大幅に軽減されるので、一部切り替えて手形とでんさいが併存した場合でもあっても、トータルの事務負荷は軽減されます。

Point

- ・取引先（手形受取企業）が感じている疑問点や苦手意識を取り除いてあげることが、でんさいへの切替をスムーズに進めるためのポイントになります。
- ・切替を断られた取引先に対しては、断られた理由をしっかりと記録しておき、その理由を解消できるよう粘り強く交渉しましょう。

■ でんさいで受け取らないと回答があった取引先に対するA株式会社の対応策

取引先が受け取らない理由	A株式会社の対応策
手形との二重管理を不便に感じる	一部切替でもメリットが出ることを説明
社内システムの変更が必要となる	システム更改以外にマイナーチェンジでも対応できないか確認
手形の裏書先が対応していない	裏書先への説明を依頼
グループの方針として利用しない	取引先から取引先親会社に利用を依頼

Point

取引先（受取側）に案内状を送るときのポイント

- ・取引先に他の郵送物を送るときの「ついで」に同封
- ・ただ送るだけでなく、「ひとこと電話等でアプローチ」を添える
- ・「期限を区切って」案内、送りっぱなしにしない
- ・「継続的に」アプローチ（初回、取引先から返信があるのは半分程度のケースも）

手形支払ゼロに向け、引き続き
取引先に切替の案内継続中

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

受取利用に関する
チェックリストの
ダウンロードは[こちら](#)



受取開始までのステップ

【受取利用に関するチェックリスト】

でんさいの受取を始めるにあたり必要となる作業の一例です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。

STEP 1 案内文書が届く

項目	作業内容	チェック欄
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	<input type="checkbox"/>
③ 社内事務・ 会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
	会計システムを確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 3 でんさい契約・回答

⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	<input type="checkbox"/>
⑥ 回答書の返送	取引先から届いた案内文書に回答しましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 4 利用準備・受取開始

⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑧ 社内事務・ 会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	<input type="checkbox"/>

受取開始

【受取開始後】

⑨ 他の取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。	<input type="checkbox"/>
-------------	-----------------------------	--------------------------

STEP
1

STEP
2

STEP
3

STEP
4

【受取利用に関するポイント】

STEP 1 案内文書が届く

項目	ポイント
① 内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。 ・特に手形からでんさいへの切替のタイミング（〇月支払分より切替等）、でんさいにかかる金融機関手数料の負担有無はしっかりと確認しましょう。

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	<ul style="list-style-type: none"> ○でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。 ・手形受取に係る諸費用（取立手数料、領収書印紙、切手等）とでんさい受取に係る諸費用（でんさい基本手数料、でんさい入金手数料等）を確認し、手形からでんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。当会社ウェブサイトの「でんさいコスト診断」ページをご参照ください。 ・でんさい受取に係る諸費用（手数料）は、金融機関によって異なりますので、取引金融機関のウェブサイトをご確認ください。取引金融機関におけるでんさいの取扱い有無は、当会社ウェブサイト「参加金融機関一覧」ページでご確認いただけます。 ・なお、でんさいは、当事者間の合意で領収書を不要にできます。領収書を発行する場合でも、でんさい支払であることを但し書きに記載すれば非課税（印紙不要）となります。
--------------	---

STEP 3

⑤ でんさい	
⑥ 回答書の	

STEP 4

⑦ 初期設定	
⑧ 社内事務 会計シス	

③ 社内事務・ 会計システムの確認	<ul style="list-style-type: none"> ○社内事務を確認しましょう。 ・でんさいの取扱いにあたっては、支払条件（振出企業、金額、支払期日等）の確認や、手形と同様に記録作業が必要となりますので、担当者や事務手順を確認しましょう。 ・金融機関によっては、操作の体験版等をウェブサイトに掲載している場合がありますので、ご確認・お問い合わせください。 ○会計システムを確認しましょう。 ・会計処理については、必要に応じて会計士や税理士にお問い合わせください。 ・確認対象は「会計処理方法」「勘定科目の追加要否」「受取手段」に『でんさい』を追加し、市販されている会計ソフトの多くはでんさいに対応していますので、まずはご利用中の会計ソフトの対応有無を確認しましょう。対応していない場合、改修やオプションの追加によって対応する方法もあります。また、利用件数が少ない場合、既存の会計ソフトを更新せずに、会計処理上手形と同様に管理する方法もあります。自社にとって最適な方法をお選びください。なお、手形番号に相当するでんさいの記録番号は、英数字 20 桁で構成されますのでご注意ください。
----------------------	---

STEP 4

⑦ 初期設定	
⑧ 社内事務 会計シス	

【受取開始後】

⑨ 他の取引先への案内	<ul style="list-style-type: none"> ○でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。 ・受取開始後、他の取引先に対して、でんさい受取を開始した旨を案内（案内状サンプルはこちら）しましょう。なお、案内文書は、請求書や領収書郵送時と同封、FAX での送付などの方法によって案内します。
-------------	---

※不明な点等ございましたら取引金融機関にご相談ください。また、一般的なことであれば当会社ウェブサイト「[ご意見](#)」ページをもとに当会社にお問い合わせください。

受取開始までのステップ

STEP 1

案内状が
届く



内容の確認

でんさいへの切替時期、
金融機関手数料の確認

受取開始までのステップ

STEP 2 利用の検討



✓ コストメリットの試算

手形とでんさいの諸費用を確認

※金融機関によって異なります

当事者間の合意で領収書をなくすことも可
※領収書を発行する場合でも、でんさいで受け取った旨を記載すれば非課税

✓ 社内事務・会計システムの確認

支払条件や会計処理等の確認

✓ 社内決定

社内全体で意思を統一し、メリット等を共有

「コスト診断」ページ
(本資料32ページでご紹介)

でんさい コスト



「でんさいアカデミー」ページ
(本資料33ページでご紹介)

でんさい アカデミー



受取開始までのステップ

STEP 3

でんさい
契約・回答



でんさいの利用契約

取引金融機関へのお申込み



回答書の返送

取引先に「利用者番号」と、
「決済口座情報」を回答

受取開始までのステップ

STEP 4
利用準備・
受取開始

初期設定

でんさいを取扱う権限者等の設定



社内事務・会計システムの整備

STEP 2をもとに整備



受取開始

(受取開始後)



他の取引先への案内

請求書や領収書郵送時に同封、FAXでの送信等

詳細は、別セミナー
「取引先へ案内しよう！編」
をご覧ください

4

利用準備(受取利用)

- でんさいの受取開始には、支払企業からの案内状受領後、概ね1か月～3か月程度要しています。

対応事項(例)	1月	2月	3月	～
支払企業からの案内状受領、導入検討(支払条件の確認等)	➡			
でんさい導入(受取)の社内決定		★		
でんさいの利用契約締結		➡		
でんさい受取可能の回答送付(利用者番号・決済口座情報の通知) ※支払企業情報の登録(指定許可機能を利用する場合)			➡	
でんさいの受取開始				★

※対応事項および期間は、経理処理方法(自動消込の要否)、導入している会計ソフト(でんさい対応の要否)等により異なります。

目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

5 事例紹介(受取企業)

B株式会社 業種(製造業) 1952年設立

【背景】


- 複数取引先からでんさいへの切替について何度か案内を受ける
- 手形の電子化(2026年度末)について報道を通じて知る
⇒金融機関の担当者に相談。

【検討事項】

- 何から検討したらよいか分からなかった
⇒でんさいネットウェブサイトの「ご検討からご利用開始まで」から資料をダウンロード

⇒チェックリストに沿って検討を開始

【受取利用編】

【受取利用に関するチェックリスト】 

でんさいの受取を始めるにあたり必要となる作業の一部です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。

STEP 1 案内文書が届く

項目	作業内容	チェック欄
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	<input type="checkbox"/>
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。 会計システムを確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 3 でんさい契約・回答

⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	<input type="checkbox"/>
⑥ 回答書の送達	取引先から届いた案内文書に回答しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 4 利用準備・受取開始

⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

受取開始

【受取開始後】

⑨ 取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。	<input type="checkbox"/>
-----------	-----------------------------	--------------------------

5 事例紹介(受取企業)

【B社(受取企業)が感じたメリット】

手形のデメリット

受領業務や受領した手形の管理が面倒
取立失念のリスク

支払期日の翌営業日以降にしか
資金化できない

紛失・盗難のリスク

任意の額に複数枚に分けて
手形振出を依頼

でんさいのメリット

金融機関への**取立依頼が不要**
支払期日**当日に自動入金**

支払期日**当日から資金利用可能**

現物がないため**リスク解消**

満額受け取り、
任意の額で**分割譲渡が可能**

Point

支払企業ばかりメリットを感じていたが
自社(受取企業)でも多くのメリットがあることを確認

5 事例紹介(受取企業)

【導入に際しての社内調整】

- 担当者・所属部署のでんさいへの理解度向上
⇒ **でんさいネットが提供している説明資料を請求(無償)**
- 取引金融機関のサポートデスクに電話して疑問を解消
- 取引先に説明する営業部署と経理部署で、社内勉強会を開催
(**でんさいネット職員に講師を依頼(無償)**)し、事前に社内で
メリットを共有

<でんさい説明資料>



でんさいネット
ウェブサイトから
無償で請求可能
(全8種類)

5 事例紹介(受取企業)

【B社が実際に利用するまでのスケジュール】

- 支払企業から案内状を受領して、でんさいの受取開始するまで **約2ヶ月半**かかった
- 適宜、取引先に対して、でんさいの受取が可能になった旨連絡中

対応事項(参考)	4月	5月	6月	7月
支払企業からの案内状受領、社内導入検討(支払条件の確認等)				
でんさい導入(受取)の社内決定				
でんさいの利用契約締結(約2週間)				
でんさいの受取利用の開始				
でんさい受取可能の回答送付(利用者番号・決済口座情報の通知) 過去にでんさいでの受取依頼があった取引先に案内⇒継続的に対応				

※対応事項および期間は、経理処理方法(自動消込の要否)、導入している会計ソフト(でんさい対応の要否)等により異なります。

5 事例紹介(受取企業)

B株式会社からメッセージ

- まずは担当者自身がでんさいの知識を身に付けるように、取引金融機関のサポートデスクに電話して不明な点を解消した
- 取引先(支払企業)ばかりにメリットが有ると思っていたが、始めてみると自社(受取企業)も“コスト削減”や“事務負荷軽減”のメリットがあった
- でんさいの受取利用に慣れてきたので、近々支払利用に向けて検討中

でんさいの受取利用導入は思った以上に簡単。

Point

- ・ 操作方法を事前に体験することで2ヶ月程度で慣れた。
- ・ でんさい1件受け取る方が手形1件受け取るよりラク

でんさいネットウェブサイトを活用して
効率よくでんさいへの切替をご検討ください。
詳細は次のページからご説明👉



目次

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	利用準備(受取利用)
5	事例紹介(受取企業)
6	ウェブサイト

6 ウェブサイト(コスト診断)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ コスト診断

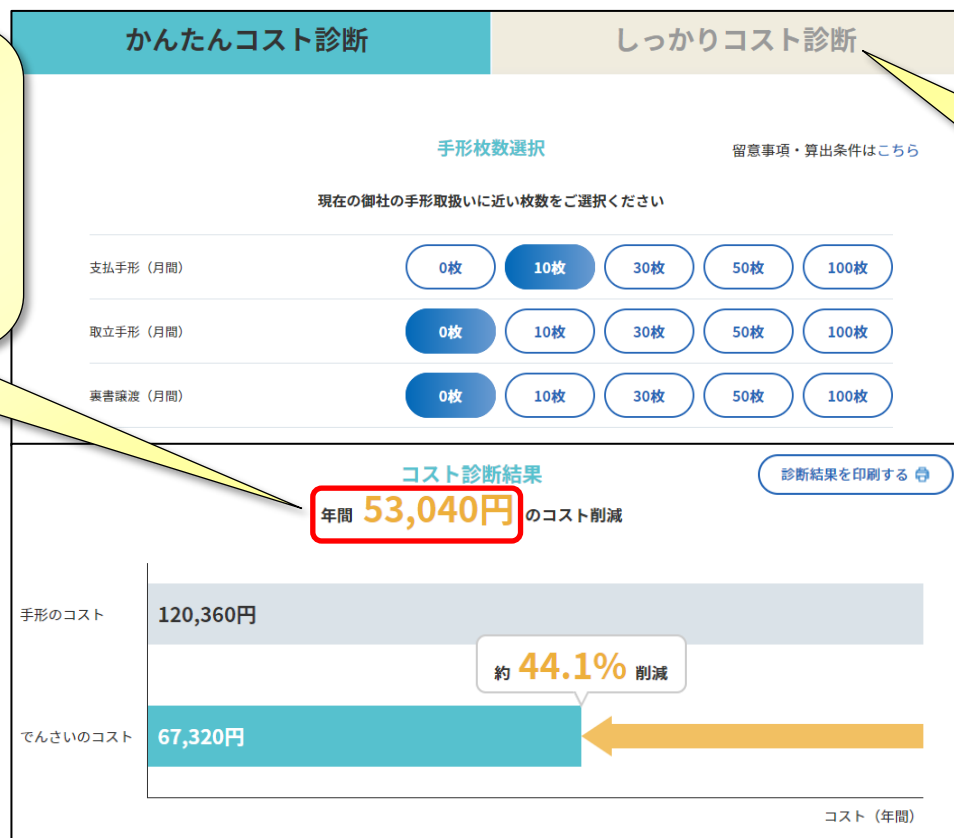
でんさい コスト



- 手形からでんさいに切り替えた際のシミュレーションツールを2種類（「かんたん版」と「しっかり版」）掲載。
- 「コスト削減の実額が表示されるので、社内検討が進めやすくなった」との声をいただいています。

「コスト診断（かんたん版）」ページ

現在の手形取扱い枚数（月間）をご選択いただくだけで、**コスト削減額の概算を算出**



【しっかりコスト診断】

お客様の実際の金額を記入いただくことで、**より具体的なコスト削減額が算出**されます※

※金融機関の手数料は各金融機関で異なります。詳しくは取引金融機関にお問い合わせください。

6 ウェブサイト(でんさいアカデミー)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ でんさいアカデミー

- でんさいを知らない方（社内の担当者や取引先等）に向けて、でんさいを案内するためのリーフレットやチラシ等を無償で配付中（※送料無料）。
- 「セミナー動画」を掲載しており、動画でいつでも視聴が可能。

「でんさいアカデミー」ページ

よくわかる!
でんさいアカデミー

電子記録債権の制度をくわしく
知りたい方はこちら

動画で知る
でんさいのメリット・仕組み

マンガで知る
でんさい導入の流れ

パンフレットで
取引先にご案内

Webでかんたん!
冊子お取り寄せ

冊子版を申し込む

「セミナー動画」イメージ

プログラム	
1	でんさいとは (4分6秒)
2	メリット (15分11秒)
3	普及状況 (4分57秒)
4	利用準備 (14分59秒)
5	取引方法、支払不能処分制度 (9分13秒)
6	事例紹介 (9分11秒)
7	利活用、参考情報 (4分7秒)

基本的な仕組み等を説明
スマホやタブレットでも視聴可能

無償配付中のツール

- ・リーフレット（はじめての方向け）
- ・導入案内チラシ（手形ご利用者向け）
- ・マンガ冊子（より簡単にでんさいを知りたい方向け）
- ・パンフレット（より詳しく知りたい方向け）

でんさい アカデミー



6 ウェブサイト（お取引先でんさい利用状況検索サービス）

- 「お取引先でんさい利用状況検索サービス」は、企業（お取引先等）のでんさいの契約有無を確認できるコンテンツです。
- でんさいの新規導入や取引拡大に当たり、あらかじめ取引先のでんさい利用状況を確認できるため、でんさいへの移行に係る社内検討が進めやすくなります。

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」ページ

でんさい 検索サービス 🔍



お取引先でんさい利用状況検索サービス

1 2 3

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」ではお取引先がでんさいをご利用しているかどうかを検索できます。

法人名称

法人名（部分一致） 法人名カナ（前方一致）

全角100文字以内

登記住所

市区町村 郵便番号

都道府県 選択してください 市区町村 先に都道府県を選択してください

検索する

【利用手順】

- ① 利用規約に同意する。
- ② 検索したい**法人名称を入力**し**登記住所を選択**（都道府県、市区町村）する。
- ③ でんさいの**契約があれば**、法人名、法人名カナ、郵便番号、登記住所が**表示**される※。

※個人事業者および検索対象からの除外をでんさいネットに申し出ている法人は検索の対象外となる

6 ウェブサイト（「導入サポート」ページの「案内状サンプル」）

- 取引先に対し、でんさいへの切替の案内を案内する際にご利用いただける「案内状サンプル」を用意しております。
- ご利用用途に合わせたフォーマット（ワードファイル）をダウンロードし、記入例（PDFファイル）を参考に、簡単に案内状を作成いただけます。

「導入サポート」ページの「案内状サンプル」



案内状サンプル


取引先に対し、でんさい切替の案内の際にご利用いただける案内状サンプルを用意しております。事業者さまのご利用用途からお選びください。


支払利用	受取利用
<h4>支払方法変更に関する案内状サンプル</h4> <p>支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して、「でんさい」への支払方法の変更について意向を確認するための案内状サンプルです。 ※簡易版は、詳細版の内容を1枚に集約したものです。</p> <p>【詳細版】ダウンロード 【簡易版】ダウンロード</p> <p>記入例はこちら 記入例はこちら</p>	
<h4>支払方法変更開始時期の案内状サンプル</h4> <p>案内状を送付した納入企業（債務者側）が「でんさい」への支払方法の変更に同意した際に、支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して「でんさい」への支払方法変更開始時期等を通知するための案内状サンプルです。</p> <p>ダウンロード</p> <p>記入例はこちら</p>	
<h4>支払方法変更に関する説明会の案内状サンプル</h4> <p>支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して、支払企業主催のでんさいへの支払方法変更に関する説明会の開催を案内するための案内状サンプルです。</p> <p>ダウンロード</p>	

案内状サンプル

取引先に対し、でんさい切替の案内の際にご利用いただける案内状サンプルを用意しております。事業者さまのご利用用途からお選びください。

支払利用	受取利用
	<h4>受取方法変更に関する案内状サンプル</h4> <p>納入企業（債権者側）から支払企業（債務者側）に対して、「でんさい」での受取に対応できるようになったことを案内するための案内状サンプルです。</p> <p>ダウンロード</p> <p>記入例はこちら</p>
	<h4>でんさいの説明に関する案内状</h4> <p>でんさいの導入メリットや取引イメージをまとめた案内状です。</p> <p>【支払利用企業向け】ダウンロード 【支払/受取利用企業向け】ダウンロード</p>

でんさい サポート 



6 ウェブサイト (かんたんメールオファー)

- 取引先に対し、でんさいへの切替の案内を案内する際にご利用いただけるメール文例を用意しております。
- ご利用用途に合わせて3項目をクリックするだけで、メール文が作成できます。

かんたんメールオファー

御社のご利用方法をお選びください。

支払利用 受取利用

3STEPでかんたんメール作成!
それぞれのSTEPの質問にお答えいただくと、最適なメール文が作成されます。

STEP1 どのような用途で、御社からお取引先にメールをお送りになりますか？
用途に応じて、最適なメール文が作成されます。

事前案内
【お取引先のでんさい対応状況を調査】

導入案内
【導入決定後、初めてのご案内】

切替案内
【でんさい支払より無償】

STEP2 お取引先にお送りするでんさいの案内リーフレットをお選びください。
リーフレットのダウンロードURLがメール文面に反映されます。(複数選択可)

事業者のみ
リーフレット

導入案内チラシ

「でんさい」活用ガイドブック

STEP3 お取引先の業種を選択してください。
当業種企業の事例を紹介するページURLがメール文面に反映されます。

建設業

製造業

卸売・小売業

不動産・物品賃貸業

サービス業

これで案内メールが完成しました。
さあ、お取引先にメールを送りましょう!

●●株式会社 ●●さま
いつもお世話になっております。
株式会社●●の●●です。
貴社への支払方法についてお問い合わせいただき、ご連絡差しあげました。
弊社においては、お取引先さまへの代金の支払について、
約束手形および振込を利用しておりますが、
昨今の情勢を鑑み、「でんさい」による支払の採用について検討しております。
「でんさい」は、約束手形や振込等に代わる新たな決済手段として、
取引企業双方にとって利用メリットの高い決済手段であると考えております。
つきましては、「でんさい」による支払について、
貴社のご意向を確認させていただきたく、
その可否についてご回答いただければ幸いです。
でんさいネット
<https://www.densai.net/>
でんさいの概要に関するリーフレット
https://www.densai.net/pdf/densai_leaflet2017.pdf
手形からでんさいへの切替案内チラシ
https://www.densai.net/pdf/densai_leaflet_dounyu_uketori.pdf
建設業の企業さまの事例
<https://www.densai.net/case/?type=type001>
どうぞよろしくお願いたします。

- ・メールの用途 (STEP 1)
 - ・案内したい資料 (STEP 2)
 - ・事例紹介したい業種 (STEP 3)
- をクリックするだけで、メール文例が表示され、コピーできます。

メール文面をコピーする

でんさい オファー



6 ウェブサイト(事例紹介ページ)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ 事例紹介

- でんさいネットウェブサイトには、中小企業をはじめとするでんさい利用企業の導入経緯や効果などを掲載中。
- でんさい導入検討中の企業はぜひ参考にさせていただきつつ、すでに利用されている企業はウェブサイトへの掲載のご検討をお願いします。

「事例紹介」ページ

中小企業の導入事例を
多数掲載中

貴社情報やでんさい利用情報
等の掲載でPR効果も
(掲載料は無料です)

でんさいネットウェブサイトコンテンツ 参加金融機関一覧/体験版

- でんさいのサービスを提供している金融機関一覧と操作体験版を掲載。
- 実際取引金融機関の操作画面を確認いただけるので、でんさいの操作に対する不安をお持ちの方はぜひご利用下さい。

「でんさい参加金融機関一覧/体験版」ページ

でんさい 金融機関



<業態・地域で探す>
<金融機関名で探す>
の2つの検索方法をご用意

でんさい参加金融機関ロゴ下にある
<体験版を見る>をクリックすれば、
実際のでんさいの操作体験が可能※

※金融機関によっては操作
体験版を提供していない
場合もあります